



北海道議会議員

き ば じゅん ど う せ い ほ う こ く

木葉淳道政報告

北海道議会議員木葉淳道政事務所

江別市野幌町79-7 ホワイトピア野幌2階

2019. 7. 22発行

2019年 No.1

草の根からの
まちづくり



「民主・道民連合」の新人議員 9名（前列左から 2人目が木葉です）

この度の北海道議会議員選挙江別市選挙区におきまして、初当選をさせていただきました。昨年10月に小学校教員を退職以来皆様には、温かいご支持ご支援をいただき心より感謝申し上げます。

これまで、4期16年にわたり北海道議会議員として活動してまいりました勝部けんじさんの思いを受け継ぎ働いてまいります。

新たな時代の北海道政を、鈴木新知事としっかり議論し進めてまいります。

今回当選した道議会議員(31期)は、全員で100名です。私の所属する会派「民主・道民連合」には27名の議員があり、内9名が1期生(初当選)とフレッシュな構成となっています。

皆さんの声を・思いを実現する道政に邁進してまいります。



【第31期 前期に担当する委員会等】

- 民主・道民連合副幹事長
- 常任委員会：文教委員会理事
- 特別委員会：少子・高齢社会対策特別委員会委員
- 会派「平和議員連盟」事務局次長
- 会派「手話言語プロジェクト」事務局次長 等

6月20日から始まった北海道議会第2定例会。4期16年にわたる高橋道政後、鈴木新知事となり初の定例議会となりました。

鈴木知事「道政執行方針」

【道政に臨む基本姿勢】

- ・ピンチをチャンスに変える道政
- ・新たな発想で攻める道政
- ・地域とともに考え、行動する道政

しかし具体的な内容は、これまで道が取り組んできた事業の踏襲が目立ち、新鮮味に欠ける内容となっています。「ほっかいどう応援団会議」や人口減少対策、IR(統合型リゾート)についても、ねらいや効果に疑問が残るものとなっています。

「草の根からのまちづくり」

引き続き、道民目線の議会をめざし、議論を進めてまいります。

第一回定例道議会報告

第二回定例道議会は、六月二〇日（木）に開会、令和元年度道補正予算、「地方財政の充実・強化を求める意見書」などを可決し、七月一二日（金）に閉会しました。

私たちの会派（民主・道民連合）からの代表質問では、知事の政治姿勢、行財政運営、人口減少対策、JR（統合型リゾート）、エネルギー政策、JR北海道路線維持問題、国際交渉や一次産業における担い手不足対策、観光振興に係る財源確保や観光振興機構の自立、北方領土問題、人権問題、教育課題などについて質疑をしました。



会派政策審議会と道側の意見交流

主な審議経過

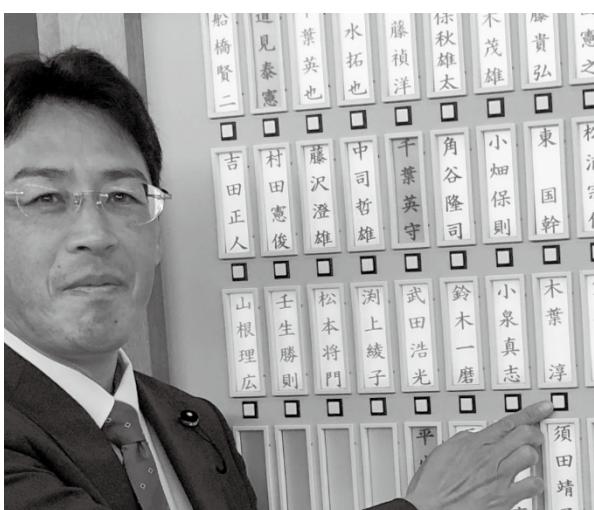
知事が提案した政策補正予算案は、一般会計に二、五一三億円を追加し、当初予算と合わせた総額は二兆八、六〇九億円（前年度当初比四%増）となりました。

しかし内容は、知事選での公約の多くを貼り付けており、これまで道が取り組んできたものを踏襲した、新鮮味のない施策ばかりが目立つ予算となりました。

道財政の改善は進まず、実質公債費比率は全国最悪の水準で、二〇二六年度には早期健全化団体に指定される早期健全化基準の二五%に迫ると予想されています。歳入では道債を七、一五六億円と見込んでおり、道債依存度は二五%と過去十年間で最も高



高橋亭副議長と1期生9人で記念撮影



道議会議員出退表示板

す。

い水準に達しています。また、一般財源ベースで四四〇億円の歳入不足となる見通しです。道債残高は過去最高の五兆八、九〇〇億円になる見通しで、財政再建は待ったなしの状況となっています。

知事に対し、今後の道政運営、政治姿勢を質しましたが、いずれも「現計画・方針に沿って」「整合性を図り」という、従来の道政運営を踏襲する道の答弁が目立ち、道政執行方針に掲げた三つの基本方針の姿形は見られません。

選挙公約の「ほっかいどう応援国会議」を由玉政策として打ち出し、二、五〇〇万円の予算を計上。外部から資金を獲得して事業を行うのがねらいとされていますが、地域活性化や財政再建にどれだけ貢献するのかなど、看板政策の効果や意義は不透明です。

IR（統合型リソート）誘致について、知事は道独自に、道民の意向を調査する考えを示し、補正予算案に道民の理解を促進するための普及活動費として三〇〇万円を計上しました。経済効果が不透明なことに加え、依然としてギャンブル依存症への不安が根強く道民には残っています。

エネルギー政策については、ベースロード電源における原子力発電の位置付けの認識を質しましたが、国の基本計画に追従する姿勢が透けて見えています。

農業については、農家数の減少や担い手不足が深刻さを増している状況にも関わらず、地域農業の生産力の維持・強化を図るという程度の認識で、現場が抱える課題への危機感は希薄です。また、国際交渉の先行きが見えないという理由で、影響額の試算には極めて消極的な姿勢です。

JR北海道の路線問題については、「単独では維持困難」としたハ区間を対象に、一年間に限りとうことで一億円の財政支援を計上しました。そもそも現在の経営状況を招いた、国鉄民営化を行った国の責任は曖昧な状況となっています。

観光振興に係る新たな財源確保（法定外目的税）

については、安定的な財源確保の必要性は示したものの、判断材料の収集に向けてのスピード感はありません。

人権施策推進基本方針は、二〇〇三年以来見直しされており、今日的な社会情勢に鑑み、基本方針の全面的な見直しを求めましたが、多岐にわたる人

権課題に対応してこゝとの答弁にとどめました。

知事の答弁は総じて、難局を開拓する意欲に欠け、北海道の未来をつくりあげていく方向性が示されないままに終始しました。

こうした議論経過などから私たちの会派は、令和元年度一般会計予算案については、組み替えを求める動議を提出し反対しました。

補正予算は、一般会計一,五一一億円、特別会計九億三、五〇〇万円。令和元年度の道予算は、一般会計一兆八、六〇九億円、特別会計一兆一、三九三億円の合計四兆円となりました。



皆さんからいただいたアンケート

採択された決議・意見書

（◎は政策審議会発議、○は委員会発議）

- 令和元年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- 新たな過疎対策法の制定に関する意見書
- 国民健康保険の子どもに係る均等割保険料（税）軽減措置の導入を求める意見書
- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- 道路の整備に関する意見書
- 義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書
- 私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書



江別市姉妹都市である土佐市との交流会



第2回定例会 予算特別委員会第2分科会質問事項等

第2分科会において、以下の質問を行いました。

○野幌総合運動公園等の道立公園の施設整備について

⇒ 建設部

○IR（統合型リゾート）について ⇒ 経済部

○学校における働き方改革北海道アクションプランの

見直し案について・特色ある高校づくりについて 等

⇒ 教育委員会

○「第1号議案令和元年度北海道一般会計補正予算」組

み替え動議趣旨説明

文教委員会における質問・ 発言等の項目

○6月 4日 第6回文教委員会

- ・児童生徒の安全確保対策について

○6月19日 第7回文教委員会

- ・学校における働き方改革北海道アクション・プ
ランの見直し案について

○7月11日 第8回文教委員会

- ・大学入学共通テストについて

※質問・発言の詳細については、今後掲載されます、
北海道議会HPにて確認できます。



～木葉 淳（きば じゅん）のプロフィール～

【住まい】 江別市大麻新町（在20年）

【趣味】 野球観戦・料理・昆虫観察

【事務所】 ☎069-0813

江別市野幌町79-7ホワイトピア野幌2階

TEL011-382-1437 Fax011-382-1401

【経歴】 ○函館市生まれ ○函館市立桔梗小学校卒業 ○函館市立桔梗中

学校卒業 ○函館市立北高校卒業 ○北海道教育大学札幌校卒業

【勤務】 北広島市立東部小学校・恵庭市立若草小学校・江別市立江別第二
小学校・当別町立西当別小学校・江別市立対雁小学校（18年10月まで）

☆ 2019年4月北海道議会議員 初当選 ☆

道政アンケート（送付は木葉道政事務所 又は Fax011-382-1401 へ）

今後の道政運営へのご意見をお聞かせください。

お名前 _____

ご住所 _____

お電話番号 _____